

	北海道大学 保健系分野（歯学）
学部・研究科名	歯学部（第1年次：53名） 大学院歯学研究科（D4:42名）
沿革・設置目的	<p>昭和42年、当時の社会情勢における歯科医師不足を背景に、歯学に関する教育・研究を行うことを目的とし、北海道大学歯学部が設置された。</p> <p>昭和22年（1947年） 新制北海道大学設置 昭和42年（1967年） 北海道大学歯学部設置 昭和49年（1974年） 北海道大学大学院歯学研究科設置 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 北海道大学の理念等に基づき、新たな分野を開拓する精神や患者中心の思考ができる豊かな人間性と高いコミュニケーション能力、国際性を涵養することにより、独創性を持って世界レベルの研究を遂行しうる研究者及び高度な専門知識と技術を備えた歯科医師の養成を積極的に推進する。</p> <p>○ 骨・血管関連を始めとする各領域における研究の実績を活かして、先端的で特色ある研究及びトランスレーショナルリサーチを推進し、新たな歯科医療技術の開発・実用化、北海道特有の地域産業や自治体との連携強化による産官学の歯学研究拠点の形成、歯科医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を養成する。</p> <p>○ 有病者・障がい者に対する治療、口唇口蓋裂の治療など、一般病院では困難な治療への取組や、臓器移植等の周術期における口腔管理（口腔ケア）を始めとした医科と歯科との医療連携強化等の取組を通じて、広大な北海道における高度歯科医療の中核的役割を果たす。</p> <p>○ 北海道に唯一の国立大学歯学部・歯学研究科として、現職歯科医師の生涯学習の拠点、地域に密着した知的基盤としての役割を果たす。</p>